資料３

令和８年度第２回環境保全審議会

「防災・スポーツレクリエーション公園」整備計画における環境影響評価項目を踏まえた周辺環境への配慮事項(案)

No.	環境側面	配慮事項（22項目）
1	大気	○交通量への影響を踏まえた駐車場の設置・運営
2	音・光	○建築物やスポーツ施設等から出る音への遮音対策
		○近隣に対する光の影響に配慮した照明設備の設置
3	水環境	○雨水の貯留・浸透について現況の水準を確保
4	生態系	○東京都の条例に基づく自然環境調査の実施
		○自然環境調査結果に基づく保全措置に向けた計画策定、東京都との協議
		○稀少種の保存に最大限の注力
5	景観・自然との触れ合い	○自然との触れ合いを感じられる空間の創出
		○子どもが自然と触れ合える遊び場の確保
		○子どもの親水スペースの設置
		○子どもの遊び場を中心に地元アンケート調査を実施
		○周辺との景観の調和
6	脱炭素	○緑の機能をふまえ、樹木のＣＯ2吸収量の算出、植栽計画への反映
		○施設の緑化
		○子どもの遊び場中心に天然芝の広場
		○伐採木の有効活用（焼却処理の回避）
		○建築物の省エネ、再エネに向けて東京都と連携し、一層の推進を検討中
		○緑の機能も活用した気候変動への適応、熱中症予防対策
7	マイクロプラスチック等	○人工芝におけるマイクロプラスチック対策
		○利用者の安全性や環境への負荷に配慮した人工芝の仕様の精査
8	安全・安心（防犯）	○園内における防犯対策
		○施設周辺における防犯対策

（※）累積的・複合的影響については、２回の自然環境調査による経年比較や、広域的視点からの地域への影響について、引き続き検討中

（※）工事における周辺環境への配慮については、別途対策を講ずる。